



会期 令和元(2019)年
7月13日(土)～8月25日(日)
会期中無休

まもなく開幕！

開館時間 9:00～17:00

※金曜日は20:00まで、入場は閉館の30分前まで
※7月13日(土)は10:00開場

料金 一般 1,300円 (1,100円)
高・大学生 1,000円 (800円)
小・中学生 600円 (400円)

※()内は前売り・20名以上の団体料金



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる～ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

【開会式情報】

次の通り、「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」の開会式を行います。
報道各位におかれましては、取材・広報にご協力いただきますようお願いいたします。
日時：令和元年7月13日(土) 9:30～
場所：広島県立美術館 3階企画展示室入口 ロビー
内容：主催者紹介・挨拶、来賓紹介、テープカット、内覧

【開催趣旨】

「ゲゲゲの鬼太郎」「悪魔くん」など数多くのヒット作を生み出した水木しげる(1922-2015)は、漫画家としてだけでなく、作品を通じて妖怪文化を広めた妖怪研究家としても高く評価されています。本展は、水木プロダクションの全面的な協力のもと、漫画や妖怪画の原画をはじめ、少年期の習作や戦地で描いたスケッチ、愛用の私物や世界中で収集した妖怪・精霊像コレクションなど約390点を一堂に展示。作品とともに人間・水木しげるの魅力を紹介する、まさに回顧展の決定版です。



水木しげるとその作品たち(II) 2010年頃

※一部作品は、会期中に展示替を行います(前期:~8/5、後期:8/6~)
(展示期間を特に記していない作品は、全期間展示します)。

【展覧会の構成】

第1章 境港の天才少年画家

1922(大正11)年、武良家^{むら}に次男・茂が誕生しました。後の水木しげるです。自然豊かな鳥取県・境港で活発な幼少期を過ごした水木は、近所に住む「のんのんばあ」が語る、妖怪や死後の世界を身近に感じるとともに、早くから絵を描くことを好み、やがて公民館で個展を開催するまでになります。

第1章では、子どもの頃からの収集癖がわかるスクラップ帳や、個展出品作が「天才少年画家」と報じられるなど、早くから才能を発揮した少年時代の自画像や風景画、絵本などをご紹介します。



「思い」1936年

第2章 地獄と天国を見た水木二等兵

高等小学校を卒業後、職場や学校を転々としていた水木にも、1943(昭和18)年、ついに召集令状が届きます。送り込まれたのはパプア・ニューギニアの激戦地。戦友が次々と命を落とし、水木自身も片腕を失う大けがを負いました。

第2章では、出征前に書いた手記原稿、過酷な戦争体験を物語る『ズンゲンで爆風を受ける』や各種の戦記漫画とともに、終戦直後に描いた、南洋の自然や人々の暮らしを素直な眼差しで捉えたスケッチもご紹介します。戦争の悲惨さを目の当たりにする一方で、異境の自然や現地の人々との触れ合いを大切にしたい、水木の生き方が感じられる作品です。



ズンゲンで爆風を受ける 1988年

第3章 貧乏神との闘い

復員後、境港から神戸、東京へと居を移した水木は、紙芝居作家、ついで貸本漫画家として活動を始めました。1961(昭和36)年、結婚。生活は困窮を極めますが、懸命に創作に打ち込み、後の「ゲゲゲの鬼太郎」の原点である貸本漫画「墓場鬼太郎」を生んでいます。『バナナを食べる水木夫妻』は、安く手に入ることから当時の数少ない楽しみの一つだったという、傷んだバナナを仲良く口にする夫妻の姿をユーモラスに描いたもの。会場では、当時の居間も再現され、リアルな空間を体感していただけます。



バナナを食べる水木夫妻 1989年

第4章 福の神来たる!!

1965(昭和40)年、「テレビくん」で講談社児童まんが賞を受賞し、評価を高めた水木は、一躍人気作家となり、多忙な生活を余儀なくされます。翌年には、自宅に水木プロダクションを設立。アシスタントを雇い、多くの作品を世に送り出しました。

第4章では、鬼太郎シリーズや河童の三平シリーズなど、代表的な水木漫画の原画に加え、多彩な作品が生み出された水木の書斎を再現して展示します。大量の本やスクラップ資料が並ぶ書斎を、ユニークな映像演出で彩った再現展示は必見です。



「ゲゲゲの鬼太郎」(妖怪飛行船巨鯨号)
1968年

第5章 妖怪に取り憑かれて

50歳を迎えるころから、水木は意識的に仕事量を減らし、かねてから興味があった妖怪研究へと活動領域を拡げていきます。日本国内はもちろん、1971(昭和46)年にパプア・ニューギニアを再訪して以来、妖怪との出会いを求めて世界中を旅してまわりました。

第5章では、世界各地で集めた妖怪・精霊像のコレクションの一部を紹介するとともに、多数の妖怪画も展示します。『妖怪のとき・暗闇の世界』は、このたびの展覧会で初めて公開される3点の妖怪画のうちの1点で、異形のものの姿が細部まで生き生きと描写され、妖怪への尽きない関心をうかがわせます。



妖怪のとき・暗闇の世界

エピローグ 水木しげるは永遠に

この章では、水木のプライベートな側面に迫ります。「ゲゲゲの女房」こと武良布枝さんのインタビュー映像は必見。50年以上に渡る水木しげるとの歩みは、2010年にドラマ化され、大きな話題となりました。さらに、各界著名人による水木への追悼メッセージも展示。愛情や敬意をこめて書かれたメッセージやイラストの数々が、水木しげるの存在と影響力の大きさをうかがわせます。



水木しげる

【媒体掲載用の画像提供について】

- ※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。
- ※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。
- ※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。
- ※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。



【関連イベント】

追加決定！

水木しげるロード観光PRイベント

鬼太郎・ねこ娘・ねずみ男との記念撮影会！

日時：8月8日(木)・9日(金) 各日11:00～、13:30～、15:00～

場所：1階ロビー

定員：各回先着50名（各回30分前から整理券を配布します。本展のチケットをご提示ください。）

講演会（共催：広島県立美術館友の会）

「水木先生の贈り物」

日時：7月20日(土) 13:30～15:00 [開場13:00]

講師：庄司行男(水木しげる記念館館長)

場所：地階講堂(先着200名)

※事前申込不要 ※聴講無料

水木しげる絵本の読み語りと紙芝居

日時：7月27日(土)・8月3日(土) 各日11:30～、14:30～(各回約40分)

出演：広島ホームテレビアナウンサー

場所：3階ロビー

※事前申込不要 ※参加無料

ひゅ～どろどろ オカリナワークショップ&ロビーコンサート

日時：7月28日(日)

①ワークショップ **定員に達したため、受付は終了しました。**

10:00～12:00

講師：野口美紀

場所：3階ロビー

※要事前申込(Tel.082-221-6246県立美術館)

※参加料(材料費)500円

②ロビーコンサート

12:00～

演奏(オカリナ奏者)：デューオ(野口美紀 & Terako)

場所：1階ロビー

※事前申込不要 ※鑑賞無料



【関連イベント】

写真撮影コーナー

写真右上のコマ部分に入るとセンサーが反応し、左上のコマ部分に水木さんの名言とイラストがランダムに表示されます。

妖怪大集合

日時:8月8日(木)

8月8日の妖怪の日にちなみ、妖怪のコスプレでご来場のお客様に展覧会グッズをプレゼントします。

夏の所蔵作品展 サマーミュージアム 美術館の七不思議

会期:7月3日(水)～9月23日(月・祝)

「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」にちなみ、妖怪や精霊たちなどが表現された作品や目に見えない不思議な力が潜む工芸作品など、美術館にまつわる不思議を紹介します。



【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

【県美×現美×ひろ美 相互割引】

「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」の会期中、3館で相互割引を実施！

下記いずれかの特別展チケット(半券可)を受付にご提示いただくと、本展当日料金より100円割引。
詳しくは各館にお問い合わせください。

※1枚につき1名様限り、他の割引との併用はできません。

広島市現代美術館(南区比治山公園1-1/TEL 082-264-1121)

山口啓介 後ろむきに前に歩く 2019年6月8日(土)～2019年9月4日(水)

ひろしま美術館(中区基町3-2[中央公園内]/TEL 082-223-2530)

かこさとしの世界展 2019年2019年6月15日(土)～2019年8月4日(日)



【開催概要】

メインタイトル：追悼水木しげる ゲゲゲの人生展

英語名：GeGeGe Exhibition

料金：一般 1,300(1,100)円 高・大学生1,000(800)円 小・中学生600(400)円

※()内は前売り・20名以上の団体料金

※学生券をご購入、ご入場の際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者
(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

前売券販売所：広島県立美術館、セブンチケット(セブンコード 074-507)、ローソンチケット(Lコード 61898)、
チケットぴあ(Pコード 769-653)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店などで販売しています。

開催クレジット

主催：広島県立美術館、広島ホームテレビ、イズミテクノ、中国新聞社、朝日新聞社

企画協力：水木プロダクション

協力：テクノネット、クロステック

後援：中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協賛：ライブアートボックス

広島展協賛：大田鋼管、広島県信用組合、一般財団法人ケンシン地域振興財団

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 藤崎 綾

広報担当：総務課 一色 直香、弘津かおる